

1 どういう性格・パーソナリティか



■この人の中心性格は「思索・内閉性」および「積極・自尊心」であるが、「自制・慎重性」や「積極・競争性」といった側面も本人は意識している。

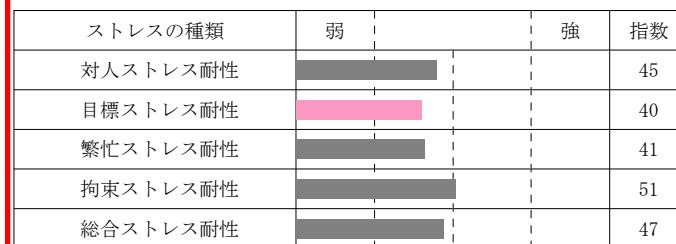
●「思索・内閉性」及び「積極・自尊心」の人のパーソナリティスケッチ

人と接触したり、話をしたりするよりも、ひとりで空想にでもふけているほうが幸せを感じているような印象を受ける。漂々とした生活ぶりを思わせ、つかみどころがないという印象もあるが、独特の価値観の持ち主で、審美的な生き方をしているともいえる。物事の判断は客観的というより、主観的にとらえる傾向が強く、場の雰囲気や感情に流されてしまうような人間臭さもみられる。また、行動や考えのなかで、意識されていることではないとしても、視野の狭さや社会性をともなわない発言をしてしまうことがあり、対人関係において気まずくなることもしばしある。しかし、他人と張り合ったり、負けたくないというむきだしの競争心があるわけでもない。むしろ人とは協調しうまくやっていきたいと望んでいる。しかしそれは、ぎすぎすした人間関係を避けるための自己防衛方法であると考えられる。一人で悦に入りこみ、自分が満足すればそれでよしとするような勝手もあり、一人よがりなところが社会的価値を高める障害にもなっている。

●もう一方の性格特性

自分もふくめて、環境をあるがままにとらえようとせず、主観的に判断することのほうがおおい。場の雰囲気や感情に左右されてしまい、相手に合わせて考えを変えてしまうところがある。また、表層的な言葉ばかりいためか、じっくり思案した発言が少ない。

2 ストレス耐性



トライアンフver.のみで診断されます。
職場のストレスを5項目に分類し、
【性格、パーソナリティ、社会性、意欲、ヤル気】
から計算した結果を指数化してあらわしています。
指数が高いほどそのストレスに対して耐性があることを示します。

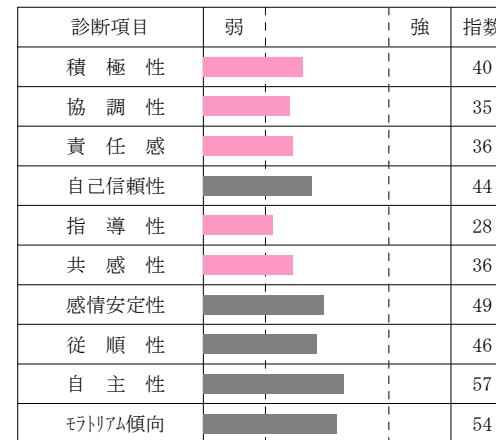
■この人は「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。
逆に「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

信頼係数



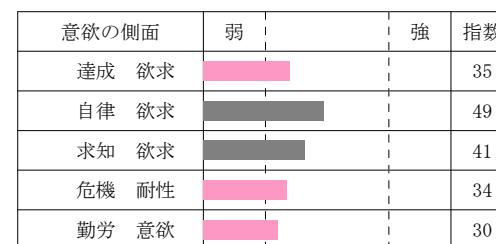
回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性



指示されたことは処理するが、つねに遠慮がちで消極的。
意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。
何でも気軽に引き受けるが、途中で投げ出すことがある。
自分の考えなどを主張するより、相手の意見にあわせる。
仲間と協同で何かをするより、独自でできることを好む。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか



苦労をして目標を達成するよりも、安定した環境が一番。

危機に遭遇したりすることは、はじめから避けていたい。
とりあえずの生活手段と考えて、勤務する可能性もある。
輪の中心となるより、あまり目立たず静かにしてみたい。
人の上に立ち、自分の管理下におくような事には消極的。

多様な価値観や人間関係、状態を受入れができる。
モノやお金、資産などに未練を持たずあっさりしている。